



# Influenza at the human-animal interface

## 動物由来インフルエンザ情報

### 2013年6月4日現在の概要と評価

#### 1 鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスによるヒトの感染症と関連した動物衛生事例

2003年から2013年6月4日までに、ヒトの鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染症で、15カ国から公式に630人の検査確定症例がWHOに報告されました。そのうち375人が死亡しています。

2013年4月26日の更新以降では、新たに2人のヒトのインフルエンザ A (H5N1) 型ウイルス感染症の検査確定症例（カンボジア：1人、エジプト：1人）がWHOに報告されました。事例に関する調査により、これらの症例は散発症例で、散発症例の出現は予想されていたことで、今後もおそらく発生するであろうと評価されました。

カンボジアは、1人の新たな症例を報告しました。この症例は、発熱サーベイランスの調査により探知されました。症例は十分に回復しています。2013年1月1日以降カンボジアで報告されたインフルエンザ A (H5N1) 型ウイルス感染症による合計11人の症例は、カンボジア南部にある5つの州で発生しています。これらの症例は直接関係しているようには思われず、殆どの症例は村で病気になった家禽と接触がありました。症例から分離されたクレード 1.1 ウイルスが、地域の家禽から分離されたウイルス株とよく似ています。これらの症例に関する調査では、新たなヒトの症例は探知されませんでした。これらの事実は、ヒト-ヒト感染よりも、感染家禽や汚染環境への暴露（接触）による散発的な感染症であることを示しています。カンボジアでは、A(H5N1) ウイルスは家禽間に循環していることが示唆されているので、更なる散発症例が予測されています。

表1 鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルス感染によるヒトの確定症例

発生国	発生地	年齢	性別	発症日	入院日	タミフル治療開始日	死亡日	接触歴
カンボジア	Kampong Speu	5才	女性	28/01/2013	不詳	不詳	不詳	不明
エジプト	Sohaq	25才	女性	25/04/2013	29/04/2013	01/05/2013	05/05/2013	病気で死んだ裏庭飼育の家禽

#### 鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスの公衆衛生リスク評価

インフルエンザウイルスは絶えず家禽類を循環しており、家庭で飼育している感染家禽や汚染環境に接触したヒトに、散発感染や小規模の集団発生が生じる可能性があります。しかし、現在、この H5N1 ウイルスは簡単にはヒトに感染しないので、このウイルスが地域社会へ拡散するリスクは低い状態です。したがって、このウイルスに関係する公衆衛生上のリスクは変わっていません。

Number of Confirmed Human H5N1 Cases  
by month of onset as of 2013-06-04

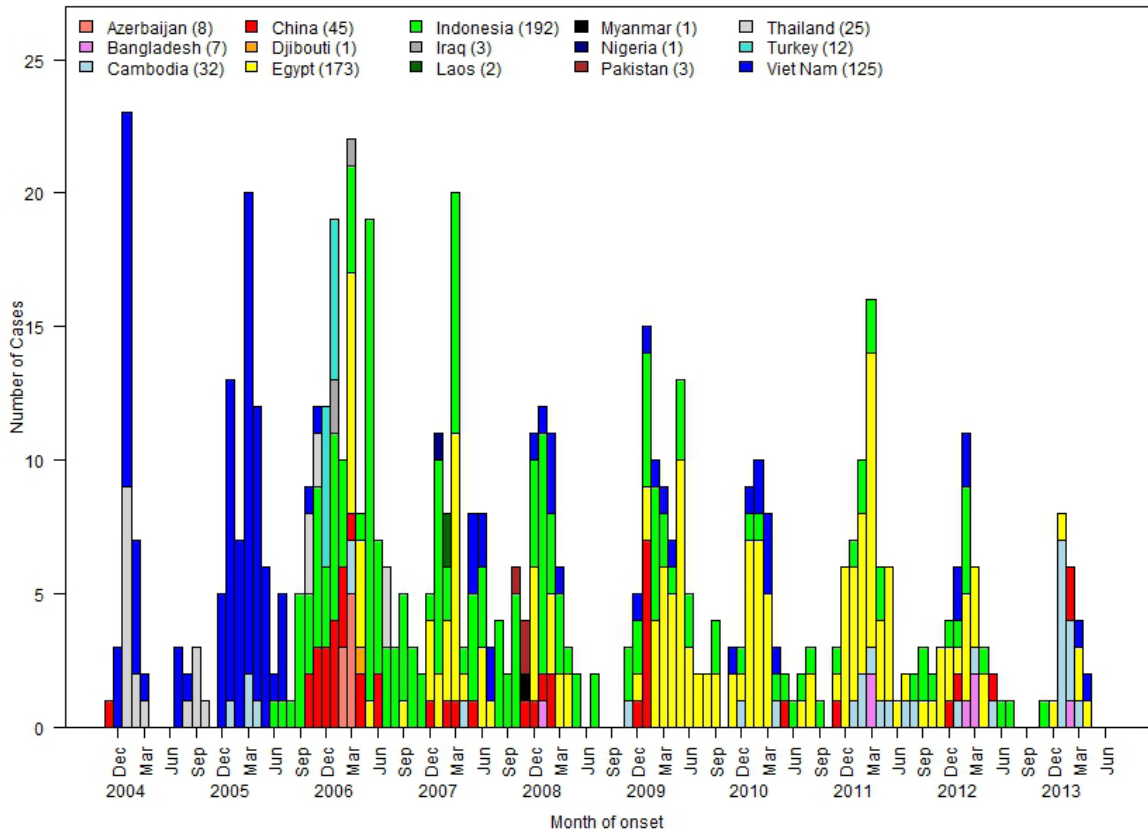
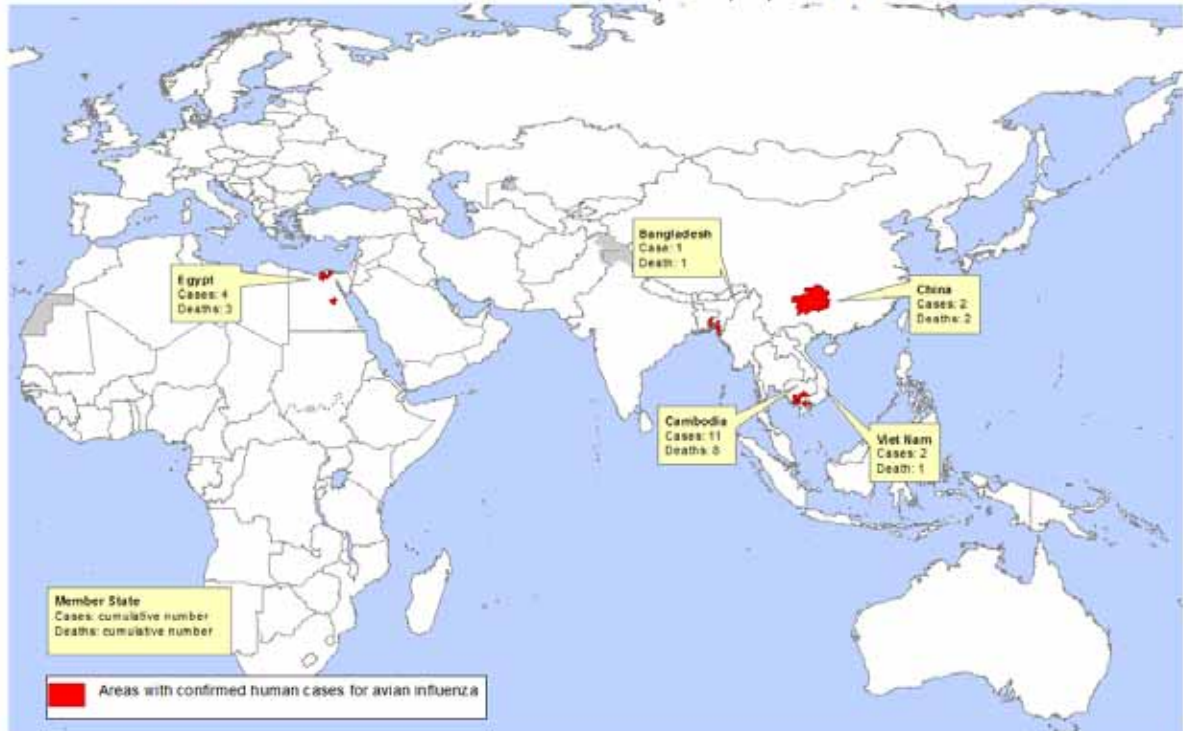


図1 国別・発症月別ヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の疫学統計

Areas with confirmed human cases for avian influenza A(H5N1) reported to WHO, 2013- to-date\*.



\*All dates refer to onset of illness  
Data as of 04 June 2013  
Source: WHO/GIP

The information reported and the presentation of the material in this publication do not necessarily reflect the opinion of the  
World Health Organization or the World Health Organization's position on the issue of avian influenza. It is the responsibility of the  
Member States to ensure that the information is accurate and that it is used for the purposes intended. The World Health Organization  
does not accept any liability for damages or losses of any kind arising from the use of the information. © 2013 WHO. All rights reserved.



図2 2013年におけるヒトのA(H5N1)型鳥インフルエンザの確定症例発生地

## 2 季節性インフルエンザウイルス以外によるヒトの感染

### A (H7N9) 型鳥インフルエンザ

中国は、2013年3月末以降、鳥インフルエンザA (H7N9) 型ウイルス感染症のヒトの症例を報告しています。5月29日以降に報告された新しい症例はありません。最終に報告された症例は、5月21日の発症例です。この件については厳重に監視され、別途リスク評価が行われています。

#### 潜在的公衆衛生上の脅威である高病原性鳥インフルエンザによる動物のインフルエンザ発生

総体的に、動物のインフルエンザ発生の公式な報告は、予測される季節レベルにあります。通常、北半球の夏季の初旬には、鳥類のインフルエンザの発生報告数は減少します。中国での鳥インフルエンザA (H7N9)ウイルスによる人の感染症と家禽におけるこのウイルスの存在のために、中国、中国近辺の国々および世界的にも、人と動物の両方において種々の亜型の鳥インフルエンザについてのサーベイランスが強化されています。したがって、他の亜型や再集合体の変化のある感染症の特定と同様に、人や動物における多くのインフルエンザA (H5) 型やA (H7) 型の事例が探知・報告されることが予測されます。多数のこれらのことから、リスク評価は変わりません。

これらの事例は、適切な経路を通じて報告されることが重要です。

インフルエンザウイルスは常に進化する性質があるため、WHOは動物とヒトにおけるインフルエンザウイルスについて世界的な監視の重要性を強調し続けており、平常時のインフルエンザサーベイランスを強化することを、すべての加盟国に勧奨しています。季節性インフルエンザウイルス以外のすべてのヒトの感染は、世界保健規則 (2005) に則ってWHOに報告されます。

平成 25 年 6 月 10 日

滋賀県衛生科学センター  
健康危機管理情報センター 仮訳